

平成28年度 生計困難者レスキュー事業

受付月	対象者情報	相談内容	支援内容
平成28年7月11日	60歳 男性	刑務所出所後、生活保護を申請中。保護費の入る7月15日までの食料の支援をして欲しいという依頼。	翌日には食料をご自宅に届け、何度か訪問し様子を伺い、支援を終了した。
平成29年2月11日	81歳女性、次男と2人暮らし。	年金40万/年、次男は仕事をしていない。年金受給日までの4日分の食糧を持って行った。これまでは生活保護を取得していないが今後は生活保護申請していく。	地震後の支援物資として入った食料（レトルトご飯×10個、ビーフシチュー×10個、ミカン3個）をご自宅に届け、お話を伺う。生活歴、現在の状況などを聴取する。母様が6日間同じオムツをはかれているという事で、法人からパットを5枚、履くパンツを購入しお届けし、何度か訪問し様子を伺い、支援を終了した。
平成29年2月17日	83歳 女性	孫からの金銭の搾取、生活費・水光熱費の負担が大きくなった。現在、所持金もなく、食事もとれていない状態である為、施設入所までの間、レスキュー事業での住まいと食事の提供依頼。	15日間の居住支援と食事の提供を行い、施設入所へと至った。